

地域	茨城県 稲敷市	認定日	平成21年6月29日	通巻番号	3 - 21 - 045
----	---------	-----	------------	------	--------------

新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

循環資源食品リサイクルシステムにより生産されたエコフィードの開発・販売とその飼料を活用した畜産物及び加工品の開発・販売

エコフィード(食品残渣飼料)で畜産を飼育し、エコフィード提供元に畜産品・加工品を提供する完結循環型リサイクルシステムを構築する。

連携体

農林漁業者 (有)中村畜産 (養豚業)、 (農) 要農場(その他の畜産農業)

エコフィードを使用し「安心・安全・エコ」な鶏卵・豚肉等を提供。エコフィードの効果は、(有)アグリクリエイトへ随時フィードバックする。

中小企業者 (有)アグリクリエイト(飲食料品卸売業)

酵素を用いた独自の食品残渣肥料化技術によりエコフィードを製造・販売する。また、エコフィードにより飼育された畜産物及びその加工品を販売する。

連携参加者 らでいっしゅぼーや(株) (飲食料品小売業)

エコフィードの原料を提供。食の安心・安全に関心を持つ顧客ネットワーク及び畜産物・加工品の販売チャネルを有する。

サポート機関等 地域活性化支援事務局、(財)茨城県中小企業振興公社、(株)常陽銀行

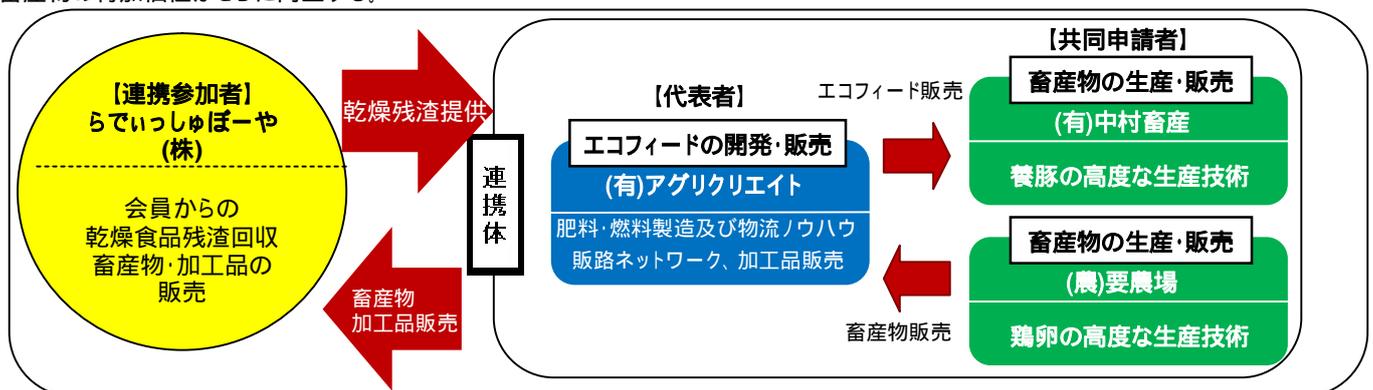
連携の経緯

乾燥食品残渣から製造したエコフィードを用いて、(有)中村畜産及び(農)要農場は「安心・安全・エコ」な鶏卵・豚肉を飼育し、畜産物を(有)アグリクリエイトを通じて消費者に届ける。そして、消費者から出される食品残渣は、(有)アグリクリエイトでエコフィードに加工され、(有)中村畜産及び(農)要農場へ提供される。この完結循環型食品リサイクルを行うために連携事業を開始した。



連携に当たっての課題や工夫

(有)アグリクリエイトは、すでに肥料化は実現しているが、肥料は需要時期が限られるためストックヤードの確保が必要であった。この問題解決策が、「飼料」化であり、又、(有)中村畜産及び(農)要農場は、近年、肥料・飼料においてもトレーサビリティを重要視していることから、このシステムにおけるエコフィードは、トレーサビリティ可能であり、両者のニーズに応えるものとなっている。研究機関により各畜産物の成分検査等を実施し、順次品質を向上させ、従来のブランドに「エコ」要素が加わることで、畜産物の付加価値がさらに向上する。



連携による効果

農林漁業者 4年で3,540万円の売上高増加、畜産物の安定供給、循環型農業による安定供給

エコフィードを使用することで、飼料のトレーサビリティが明確となり、循環システムにより生み出される畜産物・加工品は、「安心・安全」だけでなく、「エコ」として付加価値が加わることでブランド価値が向上し、収益安定が図られる。

中小企業者 4年で1億2,660万円の売上高増加、循環型リサイクルシステムの構築

食品残渣肥料化技術を酵素で発展させエコフィードを生産・販売し、エコフィードにより育成された卵・畜産品及び加工品の販売を行うことにより、循環型食品リサイクルシステムが完成し、ブランド価値向上・収益安定が図られる。

代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社アグリクリエイト
 T E L : 029-894-4360
 E - m a i l : office@orga-net.co.jp

所在地：茨城県稲敷市甘田1689
 F A X : 029-894-4366
 ホ - ム ペ - ジ : http://www.orga-net.co.jp/frame-top.htm